

「ミドリの敵」 「アメリカシロヒトリ」を退治しよう

「アメリカシロヒトリ」は、緑を大切にするわたしたちにとっておそるべき大敵です。早目に発見して徹底的に駆除し、わたしたちの住むこのまちを美しい緑でかぎりましょう。

アメリカシロヒトリとは

このアメリカシロヒトリは、5月下旬から9月中旬までの間に、だらだらと区切りなく発生します。

5月になると越冬したサナギが成虫(ガ)になって産卵します。タマゴは7日間ぐらいで幼虫(毛虫)にかえって葉を食いあらし、再びサナギになります。このくり返しが年2回行なわれ、特に6月から9月中旬に被害が多く出ています。アメリカシロヒトリは、さわってもかぶれませんが、前の年に発生した場所にはかならず発生しますので見つけし下さい駆除してください。

早期発見、早目に防除

アメリカシロヒトリは、葉を食べるのに特徴があります。毎年5月ころになるとタマゴからかえった幼虫

は、成長すると体長が3cm位になります。小さいときは淡い黄色をしていますが、だんだん白っぽい色になり頭と胴部は黒くなります。この幼虫は、葉を食べて葉脈を残すので葉をみると白くスカジ状になっています。また幼虫がお互いに糸をはいて巣を張りめぐらしたようになりますので、見つけるのはらくです。

市内の主な被害植物

▶ 果樹

カキ、アンズ、梨、スモモ、リンゴ、イチジク、ブドウ、モモ、クルミなど。

▶ 樹木

プラタナス、ヤナギ、エノキ、キリ、アオキ、サクラ、モチノ木、ムクノ木、モミジ、カエデ、ケヤキ、サルスベリ、シラカバ、ポプラ、藤など。

▶ その他

農作物、草花、雑草など

防除は薬剤散布か

枝切りと焼くのが一番

▶ 枝切り、焼却



【写真・アメシロを焼く地域の人たち】

枝葉ごと巣の部分を切取り焼いてください。また高い所は竹ザオの先に油布を巻きつけて巣の部分を焼きます。

▶ 薬剤散布

DDVP乳剤(70%)とディップレックス乳剤を1,000倍にうすめて幼虫に直接かけてください。薬は散布すると天敵を殺したり、人畜への害も考えられますので、購入する際は指導を受け十分に注意してください。

▶ 予防

8月に幹ヘワラやムシロなどを巻きつけて10月にとて焼却し、サナギを退治しましょう。

狩猟者講習会のお知らせ

■ 受けられる者

市内に住んでいる者で、狩猟免許を受けようとする者、ただし、次に掲げる者は受けられません。

①未成年者

②白痴者及びふうてん者

③鳥獣保護及び狩猟に関する法

律に違反した者で罰金以上の刑に処せられた者及び狩猟免許取消しの行政処分を受けた者で、狩猟期間満了日までに2年を経過しない者

■ 申込みの方法

①申込み先 市経済部林政課又は沼津林業事務所

②申込みに必要なもの

- ・写真(最近6ヶ月以内に撮影した正面、上半身、無帽のライカ判)1枚
- ・講習手数料

(イ)経験者	1,000円
(ロ)初心者(甲種)	1,500円
〃(乙及び丙種)	2,000円

・印鑑

■ その他 受講者は当日、筆記

用具、下敷を持参して下さい。

経済部林政課(電話51-0123 内線413)

狩猟者講習会日程及び会場

講習日	時間	区分	種類
7月19日(水)	9.00~14.00迄	初心者	乙・丙
7月20日(木)	9.00~16.00迄	"	甲・乙・丙
7月26日(水)	10.00~14.00迄	経験者	甲・乙・丙
8月3日(木)	9.00~14.00迄	初心者	乙・丙
8月4日(金)	9.00~16.00迄	"	甲・乙・丙
8月9日(水)	10.00~14.00迄	経験者	"
8月22日(火)	"	"	"
8月23日(水)	9.00~14.00迄	初心者	乙・丙
8月24日(木)	9.00~16.00迄	"	甲・乙・丙

●会場は県東部総合庁舎2階第1会議室